

## 序

色々な話題をまいた万国博覧会も、まずは成功裏にその幕を閉じ、あとはその撤去の問題のみが残されています。建築の面からみれば、Expo'70は可能性への試みともいえましょう。

これをひとつの契機として建設施工の面でも変化がみられることを期待しています。時間と労力への挑戦はますます速度を加えてくるのではないのでしょうか。

同時に各種公害の問題もやかましく叫ばれるようになってきました。直接日常生活に関係する公害の源泉である汚染の問題は、本来社会的に解決されるべき性質のものですが、根本的に解決されるまでは、われわれの方でも自衛的な手段を採らねばならない時機がありそうです。

研究所報第16号はこのような時に出ることになりました。必ずしも世相にマッチしているとは考えませんが、読者の皆様にながしかでもご参考になれば幸せに思います。

1970年10月

清水建設研究所 所長

大 築 志 夫